

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公開番号】特開 2011-19843 (P2011-19843A)

【公開日】平成 23 年 2 月 3 日 (2011.2.3)

【年通号数】公開・登録公報 2011-005

【出願番号】特願 2009-169567 (P2009-169567)

【国際特許分類】

A 6 3 B 53/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 53/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 12 日 (2012.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

次に、図 1 及び図 3 を参照して、仮想面 S 1 は、ゴルフクラブヘッド 10 をその規定ライ角、規定ロフト角で接地面に接地させたときに図 3 の点 P 2 を含む鉛直面であって、飛球線方向と直交する鉛直面である。ここで、飛球線方向は、フェースセンタ F C におけるフェース部 11 の法線を含む鉛直面に含まれる水平方向とする。フェース - バック方向は飛球線方向と平行な方向とし、トゥ - ヒール方向はフェースバック方向と直交する方向とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

図 1 において、距離 W 1 は、仮想面 S 1 と、領域 R G 2 の最もフェース側の点を含み、かつ、仮想面 S 1 と平行な面との間の距離とする。距離 W 2 は、領域 R G 2 の最もフェース側の点を含み、かつ、仮想面 S 1 と平行な面と、領域 R G 2 の最もバック側の点を含み、かつ、仮想面 S 1 の平行な面 S 2 との間の距離であり、これを領域 R G 2 のフェース - バック方向の長さとする。距離 W 3 は、仮想面 S 1 から腹の位置 A N への垂線の長さである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

各領域、部分の厚みは以下の通りである。

領域 R G 1 T : 1 . 4 mm

領域 R G 1 H : 1 . 4 mm

領域 R G 2 T : 0 . 6 mm

領域 R G 2 H : 0 . 7 mm

領域 R G 3 : 1 . 3 m m
領域 R G 4 F : 1 . 3 m m
領域 R G 4 B : 0 . 7 m m
領域 R G 5 F : 1 . 1 m m
領域 R G 5 B : 1 . 1 m m
フェース部 : 3 . 0 m m
クラウン部 : 0 . 7 m m

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

図 5 (A) は、ゴルフクラブヘッド # 1 ~ # 7 の距離 W 1 乃至 W 3 を示している。距離 W 1 はゴルフクラブヘッド # 1 で最も長く、ゴルフクラブヘッド # 7 で最も短い。従って、ゴルフクラブヘッド # 1 は、相対的に領域 R G 1、R G 4 F 及び R G 5 F の面積が大きくて領域 R G 2、R G 4 B 及び R G 5 B の面積が小さく、ゴルフクラブヘッド # 7 は、相対的に領域 R G 1、R G 4 F 及び R G 5 F の面積が小さくて領域 R G 2、R G 4 B 及び R G 5 B の面積が大きい。